

耳よりウンチク学

フロン回収ミニガイド

回収容器の冷却 (ボンベクリーニング)

夏場、ビルの屋上等周囲温度が高いところで、フロンの回収を行う場合、回収容器の温度が上昇し、回収効率が極端に落ち、困ったことはありませんか。

回収容器に濡れ雑巾を巻いたり、霧吹きで水を掛けたりして、冷やすことにより若干回収効率は上げることができます。

今回は、簡単で短時間に回収容器の圧力(温度)を下げる方法を紹介합니다。それが、ボンベクリーニングです。特別な回収装置は必要ではありません。いつも使っている回収装置があれば、簡単にできます。次の手順で行ってください。

- ①通常の回収接続に加え、回収容器のガス側接続口とゲージマニホールドを接続する。
- ②回収容器の圧力(温度)が高くなって、回収効率が低下したら容器ガス側のバルブを少し開く。
- ③回収容器内の圧力(温度)が下がったら、回収容器のガス側バルブを閉じる。

この操作により、回収容器内のフロンガスは、回収装置に吸引され凝縮し、再度、回収容器に戻るため、回収容器内ではフロンが蒸発し、回収容器の圧力(温度)は下ります。

ただし、回収装置の回収能力に余裕がない場合は、冷凍設備からの回収を中断し、ボンベクリーニングのみを行ってください。

